

劍崎 絢

*Aya Hongaki*

禁欲の鎖

お 墮ちる

僧職男子

そう

しよく



やめ……あ……

や……

……



なんで？



なぜ……

こんなことを  
……



こんなに  
しちやって



渡辺さんが  
卒業だから

手伝って  
あげるだけだろ

これなごさば  
たじろて

クセ

……

クセ



ん

い



……



……

ああ

ダメだね

痛かった？



は……人の

……



家河江さんの声が  
聞ききたかったんだ



オレの名前  
呼びながら

いきなよ



22の時  
 理由あって  
 世帯を離れて  
 仏門に入ることを  
 思いました

元々  
 寺の手紙でもなければ  
 専門の学校に学んだ  
 わけでもない俺は

寺の住職に弟子入りして  
 師の下でもう一度  
 字體と修行を  
 學んでいた

どうして「俺は」が「俺」になってしまったんだ



寒河江さん

!

うー



通行人

……どうやら

印南通行人は  
俺の隣りである  
住居の一人暮らしで  
部屋ごと奪って  
俺の元へ来て  
やっつけてくれた

あ  
隣りにしてんだ  
オレも手取りー



またお父さんと  
喧嘩したな

なんでも  
それを??

顔を見れば  
わかるさ

そんなに  
毒を隠すのが  
イヤなのか?



ちやんと  
目的があって  
坊主になるんなら  
いいけどさ  
寒河江さん  
みたいに



イヤっつーか  
隠すのが当たり前って  
いうのがオレは  
納得できねーもん



